

当時、義務教育は尋常科(6ヶ年)卒業で終了しました。上級学校へ進学する子供と働く子供と別れていました。

当時、働いている人には小学校も全く行っていない人も、小学校中退の人もいました。また、高等小学校は義務教育ではありませんでした。

尋常科しかない小学校の児童は尋常高等小学校の高等科や高等小学校に入学していました。

尋常高等小学校に尋常科入学・卒業、高等科入学・卒業した生徒は8年間同じ学校に通っていました。

			(6才) (7才) (8才) (9才) (10才) (11才) (12才)																	
			1年	2年	3年	4年	5年	6年												
昭和16年 3月まで (1941年)	尋常小学校	尋常科 入学	●	●	●	●	●	●	卒業	(義務教育 終了)	高等科 入学	(12才) 1年	(13才) 2年	(14才) 卒業	(15才)					
	尋常高等小学校	尋常科 入学	●	●	●	●	●	●	卒業		高等科 入学	1年	2年	卒業						
	高等小学校										高等科 入学	1年	2年							
昭和16年 4月 (1941年) ↷ 昭和22年 3月 (1947年)	国民学校 (初等科だけ)	初等科 入学	●	●	●	●	●	●	卒業	(義務教育 終了)	高等科 入学	1年	2年	卒業						
	国民学校 (初等科と 高等科)	初等科 入学	●	●	●	●	●	●			高等科 入学	1年	2年	卒業						
	国民学校 (高等科だけ)										高等科 入学	1年	2年							
昭和22年 4月 (1947年) ↷ 現在	小学校	小学校 入学	●	●	●	●	●	●	卒業		中学校 入学	1年	2年	3年	(15才) 卒業					(義務教育 終了)
	中学校																			

■ 学校在学児童・生徒の学年の違い (筆者制作)

大宮高等小学校の開校

昭和15年には現在の旭区の中部・東部には大宮尋常高等小学校・古市尋常高等小学校・清水尋常高等小学校があって、榎並尋常高等小学校(現城東区)がありました。

各校尋常科卒業後、高等科に進学する生徒も増え、高等科だけの高等小学校を創る必要になり、現在の高殿小学校にあたる大宮高等小学校(当時、旭区大宮町3丁目)が昭和15年6月1日に開校されました。

生徒は大宮尋常高等小学校から、高等科男子347名・女子252名。

古市尋常高等小学校から高等科男子124名・女子101名。

榎並尋常高等小学校から男子だけ296名、合計1,120名で開校されました。また、校舎は新築工事中であったため、大宮・古市・榎並小の仮校舎を使用して開校されました。



■ 清水尋常高等小学校 (写真:昭和8年「旧清水小学校 卒業記念帖」より)

そしてこの時、大宮尋常高等小学校は大宮尋常小学校(6学年・尋常科1年～6年)・古市尋常高等小学校は、古市尋常小学校(6学年・尋常科1年～6年)になりました。榎並尋常高等小学校は、尋常科1年～6年と女子だけの高等科1年・2年の8学年の学校となり、校名はそのままの学校になりました。

この時旭区大宮町9丁目(現大宮4)に大宮尋常小学校と1km程はなれた旭区大宮町3丁目(現高殿6)に大宮高等小学校ができ、よく似た校名でややこしくなりました。

高殿国民学校 高等科

『昭和16年4月小学校令はドイツの教育制度にならった国民学校令と大改正され、従来の尋常科を初等科と呼び、高等科はそのまま高等科と呼ばれるようになりました。このとき義務教育8年に定められましたが、太平洋戦争のため義務年限の延長は実施されませんでした。』

—「榎並と野江の歴史」より

